総括質問

〔問〕の記事は質問議員が作成しています。

産科再開に向け 現実的な取り組みは

青和クラブ
代表　岡林　憲二

その他の質問
〇質的満足度の高い行政サービスの提供について

【問】岸和田市内には分べん施設がほとんどないため、子どもを産むことが難しい状況である。

市民病院の産科再開に向けた具体的な取り組みについて聞きたい。また、現在6人の助産師を抱える市民病院で、院内助産所の開設に取り組むべきと考えるがどうか。

【答】市民ニーズの高い産科診療を再開することは、本院の使命と考える。再開には、常勤の産婦人科医師の確保が不可欠である。市長・院長を先頭に複数の大学医局へ医師の派遣を依頼しているほか、医師紹介会社の活用、医師募集サイトへの掲載などの手立てを講じている。引き続き医師の確保に全力を尽くす。

院内助産所は、病院で助産師が正常分べんのみを扱うもので、近年、注目されている方法である。しかし、どのような分べんも、不測の緊急事態が起こりうるため、高度なリスク管理が必要となる。

本院としては、常勤医師の確保を最優先に取り組んでいく。

市民ニーズに応える病院に

【問】危機管理室が危機管理部に昇格する今こそ、実際の被災現場で培った防災への考え方や経験を持ち込むべきと考える。

防災のプロとして経験を積んだ自衛隊員に出向してもらう、自衛隊OBを雇用するなどで危機管理部に早急に配置し、専門性の高い防災組織を構築することが、市民の暮らしと生命を守る最善策と考えるがどうか。

【答】本市は、市民はもちろん職員も大災害対応への経験不足は否めない。防災のプロである自衛隊OBの雇用や自衛隊員の出向などによる危機管理部への配置は、職員の経験不足の解消につながるとともに、自衛隊との連携も今以上に期待できる。担当業務や配置について関係機関と協議していきたい。

赤字の国保会計 保険料抑制への特効薬は

日本共産党
代表　中井　良介

【問】国保会計が赤字のため、4月から保険料はさらに高くなる。市は、保険料の値上げを抑えるため、新たに2億円を一般会計から繰り入れた。試算では、保険料は今後も値上げせざるを得ない状況にある。繰入額の増額と繰り入れの継続が必要と考えるがどうか。

【答】毎年4月に、総務省は一般会計から国保会計への繰出基準を示している。繰入額は、基準に基づき算定した額の範囲内と決められている。

また、繰り入れの継続は、今後の一般会計や国保会計の収支状況、国保制度のあり方などによる変動も考えられるが、保険料の改定時に限るものではない。

【問】府の教育基本条例案が府議会で審議されている。条例案では、知事が教育の基本計画や方針を作り、府内市町村の教育を指導するとしている。

しかし、岸和田の教育は、本市の教育委員会が責任を持ち、自主的に行うべきと考えるがどうか。

【答】本市の教育委員会は、国や府の動向を注視しながらも、子どもたちの実態を踏まえ、各小・中学校及び幼稚園の創意工夫を生かした教育活動の充実を主体的に支援していく。

【問】学力の問題をはじめ、子どもの抱える困難に対する手立てとして、少人数学級の充実が切実に求められている。市独自で対象学年を拡充する考えはないか聞きたい。

【答】小学校1・2年生に実施している少人数学級を、現在の3年生まで拡充すれば、市全体で13学級の増加となり、新たに教諭の人件費が年間で約9千万円と普通教室の確保が必要なことから、本市単独での少人数学級の拡充は困難である。

現在、国で35人学級化の推進に向け検討が進んでおり、今後も国・府に強く要望する。

モデル地区を活用し 自主防災組織の早期設置を

新生クラブ第2
代表　雪本　清浩

【問】各地域で早期に自主防災組織を立ち上げるため、モデル地区を設定する。それを受け、危機管理部や消防本部などでマニュアルや訓練内容を充実させ、市全体に広げていくことについて今後の対応を聞きたい。

【答】防災活動に活発に取り組んでいる大芝校区をモデル地区に設定し、啓発していく。

大芝地区での訓練の実施方法や地域でのコミュニケーション方法、防災関係機関との連携方法などの意見を聴く。その上で、本市の防災計画などと整合性を図り、啓発用資料を作成し、情報発信していきたい。

訓練に熱心に取り組む子どもたち
（大芝小学校）

【問】災害に強いまちづくりのため、市の部署ごとに詳細な職員初動マニュアルを作成し、訓練することが必要と考えるがどうか。

【答】各部署の災害発生の初動時には、通常とは違った特別な対応が必要と考える。

その部署の役割に応じた初動マニュアルの作成と訓練を適宜行うよう努める。

【問】適切な行政運営には、財政の安定が不可欠であることはいうまでもない。しかし、平成23年10月の財政推計では、24年度から28年度までの5年間で約54億円もの新たな財政需要が見込まれる。

また、23年12月には、行財政新改革プランが示されたが具体性に欠ける内容である。今後、安心できる財政運営の実現が可能なのか聞きたい。

【答】本プランでは、財政の弾力性を示す経常収支比率の改善を目標としている。

事業の外部評価の実施により優先順位を付け、25年度の予算に反映させる。また、内部事務や外郭団体などの見直し、企業会計や特別会計の経営健全化などの改革項目を推進することで、財政構造の改善を図り、安定した財政運営をめざす。

議会運営委員会 先進視察を実施

☆防府市での視察内容
「議会基本条例制定後の取り組み」

防府市議会では、平成23年4月に議会基本条例を施行し、条例に掲げる項目の具体化に取り組んでいる。

市民に議会への関心を高めてもらうため、議会報告会を開催している。報告会は、市内15地区で議員が4つの班に分かれて、議案の審議内容などの報告や市民との意見交換を行っている。

また、委員会単位で市民グループからの意見や要望を聴き、議会活動に反映させるための議会懇談会を開催しているほか、本会議や委員会を傍聴して意見をもらうため、市民モニターを選任している。

このほか、議員間討議や市政の重要な課題を議論する政策討論会などにも取り組んでいる。

☆周南市での視察内容
「議会改革・議会活性化の取り組み」

周南市議会では、平成16年に特別委員会を設置し『公開・対話』をキーワードとした議会改革をスタートさせた。

主な取り組みとしては、CATVを活用した議会中継と委員会懇談会（ミニコン）がある。同市ではCATVが全世帯の85％普及しており、本会議の生中継と委員会の録画中継を実施している。ミニコンは、市民の声を委員会の議案審査や所管する事務に関する調査に生かすため、委員会と市民団体が意見交換する取り組みであるが、19年以降実施しておらず、積極的な開催が今後の課題である。

そのほか、予算・決算常任委員会を設置し、予算を1年間通じて審査している。

議会豆知識

☆総括質問とは？

第1回定例会（3月議会）において、市長が新年度予算などの大綱説明である施政方針を行い、これに対し、会派の代表者が質問することを言います。

議会を傍聴しませんか

第2回定例会予定

傍聴される際は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。

- ▶6月14日(木)　本会議
- ▶6月15日(金)　本会議
- ▶6月19日(火)　文教民生常任委員会
- ▶6月20日(水)　事業常任委員会
- ▶6月21日(木)　総務常任委員会
- ▶6月22日(金)　本会議

※いずれも午前10時開会予定です。
※日程は、一部変更される場合があります。
※6月14日（木）と15日（金）の本会議をテレビ岸和田で生中継します。再放送は、6月16日（土）と17日（日）の予定です。